

平成31年度事業報告

会員の皆様には、平成31年度の事業推進に当たり、例年に加え11月3日の全日本剣道選手権の大阪主管での開催及び令和2年年初からの新型コロナウイルスの影響により日々変化する状況に応じた行事開催、中止に多大のご理解ご支援ご協力を賜わりありがとうございました。新型コロナウイルスについては、緊急事態宣言を受け、未だ予断を許さない状況が続いています。今は我慢の時であり、今出来ることを創意工夫し、実行することが求められております。思う存分剣道・居合道・杖道ができる日が一日も早く来ることを願っています。

はじめに

少子高齢化問題

剣道界全般の流れとして、少子高齢化の影響が大きく現われた年であった。新生児出生数が第1次ベビーブーム時代(270万人)の1/3(84万人)に減少する一方、総人口は横ばいから徐々に減少の傾向が顕著になってきた。当連盟の会員の人口推移について年度により変動はあるが、ここ10年の統計によると、受審者数は毎年前年比2.4%平均で減少(新型コロナウイルスの影響による3月の審査会中止を除く)を続けてきた。(定款第3条)「わが国の伝統と文化に培われた剣道(居合道、杖道を含む)を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する」ことを大命題とする当連盟は、今まで以上に少子高齢化対策に真剣に取り組んで行かなくてはならない。

賛助会員制度による支援活動

スタート後5年目を迎えた賛助会員制度には、昨年度に続き400件、250万円を超えるご協力をいただいた。totoスポーツ振興基金からの少年大会への助成に目途が立ってきたことから、賛助会員制度の所期の目的に沿ったバランスの良い支援活動を継続展開した。

また、公益法人として会員の皆様の便宜を図るため、「税額控除制度」の適用申請を進め、3月末に許認可を得た。来年度から、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」の選択が可能となり、より有利な税務上の優遇策を受けられることとなった。より一層のご支援を賜りたい。

以下、支援活動の状況

- (1) 少年・・・第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
- (2) 女性・・・2020 オールおおさか剣道WOMANフェスタ
- (3) シニア・・・第2回大阪剣道マスターズ大会
- (4) 大阪版「剣道の心」普及活動

- (1) 第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

直前に超大型の台風15号が九州地方に襲来し、大きな豪雨被害に見舞われた。また、施設管理者の事情で会場が長年親しんだおおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)から丸善インテックアリーナ大阪(大阪中央体育館)に変わった。しかし、関係者皆様の綿密な連携の下、今回も全都道府県の選手団が勢揃いし盛会裡に開催することができた。区切りの第10回大会以降大きな課題であった安定財源の確保についても、共催の大阪市のアドバイスを受け、昨年(第13回大会)に引き続きスポーツ振興基金からは234万円、賛助会員制度の中から119万円の助成をいただき、無事開催することができた。

今年度の第15回大会については、「高校野球の甲子園」、「高校ラグビーの花園」に匹敵する「少年剣道のおおさか」の火を消すなどの熱い思いの下、会場をこれまでのおおきにアリーナ舞洲に戻し、少年達の心に残る大会を目指して準備して行きたい。

- (2) 2020 オールおおさか剣道WOMANフェスタ

女子剣道の裾野の拡大が少子高齢化対策の一つの鍵であり、府下剣道界の充実と発展に大きな役割を果たすと考え、一般企業の協賛も受け、女子委員会を中心に企画した。今回3月14日に、

これまでより広い門真市立総合体育館に会場を移し、「才色剣美」のオレンジ色のシンボルカラーで統一した面手拭の下、従来の倍近い400名あまりの参加を目指した。国際女性DAYに合わせ大阪が誇るTOPレベルの警察・実業団の選手との稽古とスイーツにおしゃべりの楽しいフェスタを企画し、大阪の女子力を示す絶好のイベントとする予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、残念ながら中止せざるを得なくなった。

(3) 第2回大阪マスターズ剣道大会

人生100年時代が現実化する中、生涯剣道の推進役として頑張っていたくシニア層の一体感を醸成する場を企画した。「生涯剣楽」を旗印に、第1回参加者のうちから八段合格者が誕生し盛り上がる中、6月30日大阪市住吉スポーツセンターに於いて140名近くが参加し、シニアの存在感を示す活動を行った。

(4) 大阪版「剣道の心」

「剣道の理念をよりわかりやすく」と、未来構想委員会を中心にまとめた「唱和版」を解説パンフレットとクリアホルダーに加え「キーホルダー」の形にして府下少年大会等で配布し、普及活動を展開した。

財政基盤の確立

財政基盤の確立については、少子化が進み益々厳しさを増す個人会費と審査料・登録料を主な財源とし、更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、安定化に取り組んだ。受審者数の減少が大きく、新型コロナウイルスの影響により3月21日の守口市民体育館での中央審査会が中止せざるをえなくなったこともあり、約1,000万円の赤字となった。

1年毎の単年度思考を改め長期的な視点に立つ中期計画の検討にここ数年取り組んでいる。様々なコストプレッシャー要因を把握した上で、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営の模索を行った。赤字事業の見直し、管理費の削減等徹底した緊縮財政に各方面でご理解、ご協力をいただいております、これを継続し、安定した財政基盤の確立に取り組む。

ガバナンス・コンプライアンスの取り組み

以上の基本的な課題に加え、特に昨今スポーツ界を騒がせている「体罰・暴力的指導」への対応を強化する。剣道家の常識が世間一般の非常識とならないよう、技術のみに偏らない「人間形成につながる」指導方法の研鑽と指導者育成の機会を設ける。

その他事業については

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員の派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については各委員会・事務局が中心になって年間行事予定に従い準備、推進した。
- (2) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の呼びかけに答え、中学校における武道必修化対応事業として令和元年9月に「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を実施し、これまでに計130名余りの派遣講師候補を養成した。12月には中学校の現場からの要請で授業協力外部講師を派遣し、一般見学者にも開放した公開授業を行った。教育行政の中で、働き方改革の一環として部活動支援の機運も高まってきており、今後も全面的に協力を行う方針である。
- (3) とかく閉鎖的であった剣道界であるが、少子高齢化問題をはじめとした共通課題について各地の剣道連盟との情報交換を始めた。同じ公益社団法人として組織運営面で共通の課題を持つ福岡県、埼玉県剣道連盟、そして地勢的に共通点の多い近畿2府4県、同規模の東京都等の交流を深め、お互いの課題解決に向け意見交換を進めて行く。

以下、平成31年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I. 公益事業

1. 個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行（平成24年4月～）して8年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、交剣知愛の輪を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただきたい。

個人会員数は、高校生相当年齢2,015名、大学生相当年齢804名、一般13,743名であった。なお、中学生以下の登録者は8,161名で、その合計は24,723名であった。昨年度と比べると、一般の登録者は増加の傾向が窺えるが、高校生相当年齢・大学生相当年齢および中学生以下の登録者数は減少の傾向が顕著である。若年層の減少が顕著に表れたため、個人会員数合計は、「減少」となった。

本年度の入会登録団体は1団体あり、退会登録団体は5団体で、本年度末の登録団体数は565団体となった。

2. 講習会の開催及び指導者育成事業（定款第4条第2号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図るため、講習会を開催した。

剣道においては、近年マンネリ化していた講習会の参加者を増やし、指導者の一層のレベルUPを図るために、府下9地区を北・中・南の3ブロックに大きく括り、八段講師を毎回約5人投入し、審判法・日本剣道形と指導法を有機的につなぐ講習会を企画、実施した。各ブロック1回ずつ、計2回(新型コロナウイルス感染防止のため1回中止)の講習で延べ189名の参加を得た。これに先駆けて、指導講師間での趣旨徹底、意思統一するため、5月18日午前中に全剣連伝達講習を兼ねて八段講師研修会を開催し、午後に審査員審判員研修を行った。

これまで実施してきた講習会については、審判法3回、日本剣道形2回、指導法2回、女子剣道普及のための講習会・稽古会を1回、合計で8回開催した。

全剣連後援講習会については、今年度は全剣連都合により隔年行事となったため実施しなかった。上記の地域合同講習会開催に注力するとともに、従前の地域・職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進した。これらの剣道講習会を合計で27回開催し、受講者延べ1,475名であった。

これら上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけており、個人登録システムにより資格認定の必須条件として厳密に管理することとした。

さらに、9月には、全剣連の主導により中学校における武道必修化に対応した第6回目の「授業協力者養成講習会」を実施した。受講者は42名であった。

居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など9回実施し、恒例となった、全剣連派遣講師による講習会を1回実施、合計10回の講習会を行なった。

杖道では、2回の主要講習会に加えて10回の月例研修会等を開催した。

三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を2月8日（土）エル・おおさかに於いて、公益財団法人スポーツ安全協会大阪府支部の助成を受けて、講師に深沢雄二救急救命士（京都橘大学 健康科学部 救急救命学科助教）を招聘して「救急救命～いざというときに役立つ救急処置の基本」を、細野昇医師（星ヶ丘医療センター副院長）を招聘して「国民病としての腰痛・肩こり～武道家の頸椎・腰椎疾患を含めて～」をテーマにして、開催したところ、110名余りが受講し、大きな反響を得た。

暑中稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち、7月27日おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)で実施し、約850人の参加があった。府内剣道人が一堂に会し、共に汗を流し、自己の存在を確認し、成長を図る場として、今後も一層の成果を期待したい。また寒稽古は1月4日～6日に丸善インテックアリーナ大阪(大阪府中央体育館)で実施し、多数の参加を得た。

3、各種大会開催事業 (同条第3号)

本連盟主催分・・・	6月15日(土)	第52回大阪府少年剣道大会	
	6月22日(土)	第56回大阪杖道大会	
	6月30日(日)	第2回大阪剣道マスタース大会	
	7月20日(土)	第66回大阪府剣道優勝大会	
	9月15日(日)	第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	
	12月14日(土)	第16回大阪府女子剣道優勝大会	
本連盟後援分・・・	9月29日(日)	第42回関西杖道優勝大会	
	11月17日(日)	第49回居合道段別大会	
令和2年	1月12日(日)	第61回大阪居合道大会	
本連盟主管分・・・	4月29日(祝)	第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	
	5月26日(日)	大阪市長杯第63回市民剣道大会	
	8月21日(水)～23日(金)	第49回全国中学校剣道大会	
	11月3日(祝)	第67回全日本剣道選手権大会	

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣 (同条第4号)

次のとおり派遣した。

<剣道>

4月6日(土)～4月7日(日)	第54回剣道西日本中央講習会	神戸市 吉積、森口
4月21日(日)	第17回全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市 山本、新屋、江藤
4月29日(祝)	第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市 戸高、内城、中西、足達、村上、土谷、市原、愛甲
5月2日(木)～5日(祝)	第115回全日本剣道演武大会	京都市 参加者：461名
6月13日(木)～16日(日)	第57回剣道中堅剣士講習会	奈良市 小阪、佐藤、田中
7月13日(土)	第11回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都 石田、徳田、玉置、山崎、近藤、川内
8月18日(日)	第74回国体近畿ブロック大会	奈良県天理市 少年男・女、成年女子 13名
9月8日(日)	第58回全日本女子剣道選手権大会	長野県長野市 山本真、山崎、大亀
9月15日(日)	第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市 小学生チーム 2チーム、中学生チーム 2チーム 計4チーム
9月22日(日)	第65回全日本東西対抗剣道大会	静岡県浜松市 山崎、山本、古川、寺本、愛甲
9月29日(日)～10月1日(火)	第74回国民体育大会	茨城県筑西市 少年女子・成年男子・成年女子 計3チーム

11月 3日(祝) 第67回全日本剣道選手権大会 大阪市
土谷、前田、小角
11月 9日(土)～11日(火) 第32回全国健康福祉祭 和歌山県白浜町
大阪府チーム：西山、木下、林、西ノ原、石丸、安部
大阪市チーム：江崎、赤木、山本、増田、國次、藤澤
堺市チーム：畑山、貴田、田原、柴田、奥村、飯山

<居合道>

5月 2日(木) 第115回全日本剣道演武大会 京都市 参加：58名
6月 8日(土)～9日(日) 全剣連地区講習会 石川県金沢市
参加：1名
7月 6日(土)～7日(日) 全剣連地区講習会 徳島市
参加：72名
8月31日(土)～9月 1日(日) 第46回全剣連中央講習会 京都市
中野、光行
10月19日(土) 第54回全日本居合道大会 高知市
本郷、岡島、中島、黒木

<杖道>

5月 2日(木) 第115回全日本剣道演武大会 京都市 参加：20名
6月 1日(土)～2日(日) 第28回全剣連中央講習会 千葉県勝浦市
渡邊、藤田
8月 3日(土)～4日(日) 全剣連地区講習会 長崎県諫早市
参加：9名
10月13日(日) 第46回全日本杖道大会 神奈川県横須賀市
二段：日下(養峻館) 四段：篠原(玄武館) 五段：高山(守口)
参加：17名

(台風の影響により開催が中止された)

令和2年1月25日(土)～26日(日) 全剣連地区講習会 山梨県甲府市
参加：10名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与(同条第5号)

段位審査会は、剣道4回(3月審査：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、居合道1回(3月審査：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、杖道2回実施した。剣道の受審者数は3,744名で、前年度より29.2%(1月審査終了時、約7%)の減少、居合道は52%の減少、杖道は25.7%の増加となった。

6、功労者の表彰(同条第6号)

①令和元年度 全剣連 剣道有功賞 鏡山 博行
小川 庄司
橋本幸太郎

②令和元年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞
豊能地区 野田剣友会仁風館 池田署剣心会
三島地区 興風会 ダイキン有心館
大阪北地区 旭警察少年剣道会
大阪南地区 剣有会 西成警察署少年剣道推進会
中河内地区 河内警察少年剣道推進会
堺地区 西堺警察署少年剣道推進会

③令和元年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞

金 賞	菅野 嘉章
銀 賞	横尾 卓治
〃	荒木 哲
〃	中原 忍
団体賞	富士剣友会

④第 49 回全国中学校剣道大会 女子団体の部 優勝 大阪市立新東淀中学校

⑤範士受称 剣道 船津 晋治

⑥八段昇段 剣道 平田 裕亮
〃 中尾 真吾
居合道 本郷 雅昭

7、その他大剣連の目的達成のための必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区（合同講習会含む）・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して27回開催(中止1回)され、活発な活動が行なわれた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された36回(中止4回)の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、67回(中止5回)の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続けて刷新し、また、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。

把握している加入数は 247 団体 2,351 名で、加入団体数は微増、加入人数も 0.6%の微増であった。1 団体の所属者数が減少傾向（登録団体が小規模化）の傾向にあると思われる。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生の傾向

事故・傷害の保険適用件数は 73 件で、昨年度に比べ 3 件増加。事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。中でも、少年剣士の足部の骨折が多く報告されている。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也も発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計 948 冊を販売した。

2、広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、総数 32 件、総計 620,000 円の協力を得た。

III. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を 3 回、理事会を 4 回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務（法規整備、綱紀・安全）、IT・広報（個人情報保護管理）、財務、補助金審査、未来構想、学校、普及、少年、女子、講習会、審判、強化、審査、審判員選考、事業、居合道、杖道、審査員選考の 18 専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

平成31年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

	講習会名称	実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	3回	15名	144名
	日本剣道形講習会	2回	10名	102名
	指導法講習会	2回	9名	66名
	女子稽古会・講習会	1回	5名	38名
	計	8回	39名	350名

(2) 各種大会の開催

5月26日(日) 大阪市長杯第63回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
 優勝：男子の部 大阪拘置所B 於浪速スポーツセンター
 女子の部 NTT西日本大阪 参加：68チーム
 359名

6月15日(土) 第52回大阪府少年剣道大会
 兼 第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会大阪府予選会
 於はびきのコロセアム
 優秀チーム 参加：239チーム
 高学年：錬武館郡道場、竹の子剣道クラブ、穴師剣道会 688名
 低学年：高野台剣友会、竹の子剣道クラブ、小曾根剣友会

6月30日(日) 第2回大阪剣道マスターズ大会 於住吉スポーツセンター
 参加：138名(剣道：118名、居合道：7名、杖道：13名)

7月20日(土) 第66回大阪府剣道優勝大会
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
 優勝：男子一般 パナソニックライフソリューションズ社本社 参加：176チーム
 女子一般 大阪剣道協会 911名
 高校男子 上宮高等学校

9月15日(日) 第14回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市・大剣連主催)
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
 参加：小学生の部 48チーム
 中学生の部 48チーム

12月14日(土) 第16回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター
 個人戦の部 優勝 一部：中原 二部：山本 三部：河部
 四部：矢里 五部：杉山 参加：129名
 団体戦の部 優勝 一部：パナソニックライフソリューションズ社本社
 二部：泉北桃山台剣友会
 参加：34チーム、114名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月20日(土) 第11回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
 代表:徳田、玉置、山崎、近藤、川内 参加:48名

5月11日(土) 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
 参加:41名
 代表:(大阪府チーム)西山、玉津、林、西ノ原、石丸、安部
 (大阪市チーム)江崎、赤木、山本、増田、國次、藤澤
 (堺市チーム)畑山、貴田、田原、柴田、奥村、飯山

5月19日(日) 第74回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館
 代表:(男子)草野、大城戸、古川、北口、新屋 参加:103名
 (女子)森山、山本、酒匂

7月6日(土) 第58回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
 代表:山本真、山崎、大亀 参加:46名

8月31日(土) 第67回全日本剣道選手権大会・大阪府予選
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
 代表:土谷、前田、小角 参加:57名

令和2年2月23日(日) 第68回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於修道館
 代表:前田、西、日下、村上、前田、市原、三浦 参加:124名

(4) 審査会

7月28日(日) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)
 10月6日(日) 近畿大学記念会館
 11月23日(祝) 岸和田市総合体育館
 令和2年1月18日(土) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)
 3月21日(祝) 守口市民体育館・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	1,725	1,190	365	228	236	3,744	△ 1,547 △29.2%
(うち女性)	539	330	99	64	64	1,096	△ 410 △27.2%
合格者数	1,518	870	212	108	104	2,812	△ 967 △25.6%
(うち女性)	475	245	61	24	20	825	△ 240 △22.5%

参考 (称号および六段以上)

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	402	409	262	60	31	—	1,164	△ 25 △ 2.1%
合格者数	78	60	2	60	31	1	232	△ 38 △ 14.1%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月20日(土) 第66回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)
演武 日本剣道形 米村 幸生 - 平野 良樹
宝蔵院流 槍術 前田 繁則 - 小寺 直樹
小野派一刀流 組太刀 井上 勝由 - 野村 光輝
なぎなた 吉田 諒 - 八木 千智
7月27日(土) 暑中稽古 於おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)
参加者: 約850名

令和2年2月11日(祝) 第24回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)
参加: 指導者1名
弁天剣友会少年剣道部・平野剣道協会・竹の子剣道クラブ・聖和剣道友の会・
なんば養正会 練習生 計19名

3月の国際女性DAYに合わせた新しい企画として、
令和2年3月14日(土) 2020 オール大阪剣道 WOMAN フェスタ 於門真市民体育館
「つなぐ-en-システム株」と共催、数社の協賛を得て、実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月18日(土) 第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：111名
6月8日(土) 審判講習会	於千島体育館	参加：66名
7月27日(土) 第2回特別強化練習会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：109名
8月11日(祝) 夏季居合道講習会	於千島体育館	参加：165名
9月21日(土) 全剣連伝達講習会	於千島体育館	参加：122名
令和2年1月25日(土) 新年合同稽古会	於エディオンアリーナ大阪 (大阪府立体育会館)	参加：105名
2月1日(土) 第3回特別強化練習会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：98名
2月11日(祝) 高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加：23名
2月22日(土) 春季居合道講習会	於千島体育館	参加：158名
平成31年4月6日(土)～7日(日) 全剣連派遣講師講習会	於修道館	参加：延222名
全剣連派遣講師：小倉 昇 範士		

(2) 各種大会の開催

11月17日(日) 第49回居合道段別大会	於修道館	
10月12日実施予定であったが、台風のため11月17日に延期して実施した。		参加：159名
(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)		
段外：横山(石切)、森本(武泉会)、鹿又(近畿大)、篠原(武泉会)、 西端(石切)、大河内(北摂会)		
初段：雑賀(近畿大)	二段：菊池(大剣協)	三段：依田(春風会)
四段：堀(武泉会)	五段：白坂(大剣協)	六段：中島(水月会)
七段：最優秀賞…本郷(大剣協)、部長賞…宮本(春風会)		
令和2年1月12日(日) 第61回大阪居合道大会	於エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)	参加：1,036名
(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)		
<男女混成> 段外：30名		
七段…福田一男杯受賞者：丸岡昭仁(高知)		
…大阪居合道同志会長杯：原田 渡(神奈川)		
…最優秀演武者：宇都宮 聡(愛媛)		
<女子の部>	初段：水谷みらい(京都大)	二段：大本佳奈(京都大)
	三段：森石真見(岡山)	四段：直原綾香(岡山)
	五段：亀井美和(高知)	六段：瀧澤朋未(群馬)
<男子の部>	初段：五郎丸史倫(同志社大)	二段：藤井節夫(群馬)
	三段：中村政樹(長崎)	四段：玉光弘和(埼玉)
	五段：草間大介(新潟)	六段：隠岐充啓(兵庫)
<団体の部>	優勝：春風会	2位：無外流武泉会

(3) 各種予選会の開催

5月18日(土) 第54回全日本居合道大会大阪府選手選考会

(第1回特別強化練習会) 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)

監督: 本郷

選手: 岡島、中島、黒木

参加: 111名

11月17日(日) 第61回大阪居合道大会大阪府予選会

於修道館

参加: 159名

3位: 大阪剣道協会・近畿大学

決勝戦は、1月12日大阪居合道大会で実施、優勝: 春風会 2位: 無外流武泉会

(4) 審査会

8月25日(日) 於大阪市立修道館

令和2年3月14日(土) 於大阪市立修道館…新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	15	14	9	8	7	53	△57名
合格者数	14	11	6	4	1	36	△34名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	21	13	12	4	2	—	52	+1名
合格者数	1	1	1	4	2	—	9	△3名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月20日(土) 第66回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪

(大阪市中央体育館)

演武 無外流・太刀打之形

東 弘一 — 黒木 教夫

12月14日(土) 第16回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター

演武 無双直伝英信流 居合道形

植田あつ子

全日本剣道連盟 居合道形

川口伊都子

令和2年2月11日(祝) 第24回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪

(大阪市中央体育館)

参加: 綿谷尚久 — 吉田 潤 東 弘一 — 黒木教夫

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月14日(日) 春季講習会	於修道館	参加：72名
5月12日(日) 一般研修会	於川西市総合体育館	参加：32名
6月9日(日) 高段者研修会・審判講習会	於川西市総合体育館	参加：23名
7月13日(土) 伝達講習会・強化錬成会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：52名
8月4日(日) 一般研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：28名
9月8日(日) 高段者研修会・審判講習会	於川西市総合体育館	参加：30名
10月20日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：17名
10月26日(土) 秋季講習会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：69名
11月17日(日) 一般研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：35名
12月8日(日) 一般研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：35名
令和2年1月5日(日) 稽古初め	於エディオンアリーナ大阪 (大阪府立体育会館)	参加：35名
2月2日(日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：31名
3月8日(日) 一般研修会	於東淀川体育館	参加：—名

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した)

(2) 各種大会の開催

6月22日(土) 第56回大阪杖道大会兼第46回全日本杖道大会大阪府予選会
於東淀川体育館 参加：122名

(優勝者のみを記載)

初段以下：安藤(小野睦会) 二段：日下(養峻館) 三段：金丸(和歌山)
四段：篠原(玄武館) 五段：高山(守口) 六段：上村(奈良)

9月29日(日) 第42回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加：140名
 <団体戦> 優勝：紀州有信会 B 準優勝：穹盈館
 <個人演武優秀賞> 段外：深野創(紀州)、亀蔦(愛知)、原富(守口)
 初段：拓植(守口)、深野匡(紀州)
 二段：長崎(藤井寺)、中林(泉北はつが野)、山田(玄武館)
 三段：曾根(泉北はつが野)
 四段：荻野(神戸大学)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月22日(土) 第56回大阪杖道大会兼第46回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月28日(日) 於大阪市立修道館

11月24日(日) 於大阪市立修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	10	12	10	5	7	44	+9名
合格者数	7	8	7	1	2	25	△2名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	4	0	5	4	1	—	14	△6名
合格者数	4	0	0	4	1	—	9	±0名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

- 7月20日(土) 第66回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)
演武 全日本剣道連盟杖道形 森本 訓史 — 服部 知司
神道流 剣術 佐藤 政子 — 中野 伊織
内田流 短杖術 鹿島 晃 — 大島谷 仁
一心流 鎖鎌術 近藤眞佐雄 — 坂上 亨
- 12月14日(土) 第16回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター
演武 黒川 徳子 — 森本 真由
- 令和2年2月11日(祝) 第24回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)
参加:大島谷仁 — 田口雅夫 古谷重勝 — 服部知司
- 3月15日(日) 第8回杖道体験講習会 於森ノ宮医療学園 ~~一般受講者: 各~~
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した)

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

平成 31 年度事業報告 附属明細書

平成 31 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟